

テーマ：わが家のお手伝い

ねらい

お手伝いは、親が子どもを一人前に育てる第一歩です。そこで、他の家庭ではどのようにお手伝いをしているのか、お手伝いを楽しんでもできる手段を話し合い、学びましょう。

時間	主な活動	留意点
2	【はじめに】 お手伝いをしっかりやることは、子どもの現在、将来にとって、意義の大きいものです。今日は皆さんで、わが家のお手伝いとそのときの言葉かけを考えましょう。	
5	【アイスブレイク（例）】 アイスブレイク集参照	
7	【アクティビティ】 ①一人一人が、ワークシートの表の空欄に印をつける。また、子どもの変化の欄も記入する。 <u>準備物：ワークシート</u>	①記入が進まなければ、親と一緒にやったのも良しとするよう伝える。時間設定は記入の状況に合わせて柔軟に変更する。
20	②グループで各自のお手伝いの状況と子どもの変化について共有する。	②よくやっているお手伝いがある場合は、「何歳ごろから始めたか」「どのようなきっかけで始めたか」など、話の盛り上がりによって提案する。
8	③お手伝いをしてくれた子どもへの言葉かけとご褒美について、現実と理想をグループで話し合い、ワークシートに記入する。	
6	【ふりかえり】 ①いくつかのグループに、理想の言葉かけを発表してもらおう。	①時間によって発表数は柔軟に対応する。
2	【まとめ】 今日は、各家庭で子どもがしているお手伝いとその意義について考えました。実際、お忙しい中では、手伝いをしてくれないほうが助かる場合もあるでしょう。ただ、お手伝いは子どもの生活経験を広げると同時に、褒めてもらう機会にもなります。そういった経験を通して、子どもは自己肯定感をもつことも考えておきましょう。	